



# 環境経営レポート 2021年度版

対象期間：2021年4月～2022年3月

発行日：2022年6月1日



MAJOR VENOUS JAPAN  
メジャー ヴィナス・ジャパン



# 目次

## I. 組織の概要

- (1) 各称及び代表者
- (2) 所在地
- (3) 設立
- (4) 役員等の氏名
- (5) 資本金
- (6) 事業内容
- (7) 事業の規模
- (8) 事業登録
- (9) 使用車両等
  - ①収集運搬車両 6 台
  - ②営業車 4 台
  - ③重機 6 台

## II. 対象範囲

- (1) 組織図
- (2) 役割・責任・権限

## III. 環境方針

<活動指針>

## IV. 中期環境目標

## V. 環境目標の実績

## VI. 環境活動計画の評価と次年度の取組内容

## VII. 環境関連法規等の遵法状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

## VIII. 代表者による全体の評価

# I. 組織の概要

(2022年4月現在)

## (1) 名称及び代表者

メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社

代表取締役 渡辺 弘三

## (2) 所在地

「本社」東京都千代田区大手町一丁目7番2号東京サンケイビル15階（登記上の住所）

「東京エコファクトリー」東京都江東区新木場4丁目2番21番、25番

「八丁堀事務所」東京都中央区八丁堀3-7-6群成舎八丁堀ビル2階

## (3) 設立

2015年12月10日

## (4) 役員等の氏名

代表取締役 渡辺 弘三（2019年5月29日就任）（常勤）

取締役 大塚 健護（2015年12月10日就任）（非常勤）

監査役 釘宮 新一（2015年12月10日就任）（非常勤）

## (5) 資本金

1億円

## (6) 事業内容

鉄・非鉄・金属等の買取・販売、産業廃棄物の収集運搬業、  
産業廃棄物の中間処理業、産業廃棄物の法令に関するセミナーの実施、





# I. 組織の概要

(2022年4月現在)

## (6) 事業内容

鉄・非鉄・金属等の買取・販売、産業廃棄物の収集運搬業、  
産業廃棄物の中間処理業、産業廃棄物の法令に関するセミナーの実施、

2015年12月10日	東京都千代田区大手町1-7-2にメジャーヴィーナス・ジャパン株式会社を設立。
2016年10月7日	東京都において古物商の許可を取得。
2016年10月28日	東京都において産業廃棄物処分業の許可を取得。
2016年11月1日	東京都江東区新木場4-2-21にメジャーヴィーナス・ジャパン株式会社東京エコファクトリーを開設。
2016年11月7日	東京都において第一種フロン類充填回収業者登録。
2016年12月26日	埼玉県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得。
2017年1月20日	茨城県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得。
2017年2月6日	神奈川県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得。
2017年2月8日	千葉県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得。
2017年2月10日	東京都において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得。
2017年5月29日	東京都において産業廃棄物収集運搬業の変更許可を取得。積替え保管の追加（石綿含有産業廃棄物）。
2017年5月29日	東京都において特別管理産業廃棄物収集運搬業の変更許可を取得。積替え保管の追加（廃石綿等）。
2017年8月31日	三重県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得。
2017年12月26日	東京都において産業廃棄物収集運搬業の変更許可を取得。積替え保管の追加（汚泥、金属くず）。 東京都において産業廃棄物処理業 圧縮梱包処理を追加
2018年3月22日	東京都において産業廃棄物処理業 圧縮梱包処理の種類の追加（ゴムくず）、破碎処理を追加（廃蛍光灯）
2018年7月5日	東京都において産業廃棄物収集運搬業の変更許可を取得 積替え保管の追加（積替え保管の保管量の変更（石綿含有産業廃棄物））
2021年10月28日	東京都において産業廃棄物処分業の許可更新。優良認定取得。
2021年12月27日	埼玉県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を更新。優良認定取得。
2022年3月29日	千葉県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を更新。優良認定取得。
2022年3月31日	東京都において廃棄物再生事業者登録。金属くずの再生事業。
2022年4月1日	八丁堀事務所（営業事務所）を開設。

# I. 組織の概要

(2022年4月現在)

## (7) 事業の規模

①役員数 3名 (常勤 1名)

②従業員数 52名

(内訳) 東京エコファクトリー 事務所 20名

現場 22名

八丁堀事務所 10名

③売上高 3,404百万円

※第7期決算 (2021年4月～2022年3月)

A棟事務所	234.60㎡
B棟事務所	74.50㎡
A棟工場	1763.30㎡
B棟工場	1485.00㎡

④面積 建物面積 3557.40㎡

土地面積 6611.57㎡

## ⑤積替保管施設ごとの所在地、面積、保管する産業廃棄物の種類、保管上限量

積替保管面積：4,100㎡

最大保管高さ：5.18m

廃石綿等 コンテナ1個 (30㎡)

最大保管高さ：5.18m

汚泥、廃プラスチック、ガラス・コンクリート陶磁器くず、がれき類 (石綿含有産業廃棄物に限る)

保管量：コンテナ3個 77.6㎡ (30㎡×2, 17.6㎡×1)

最大保管容量：0.2㎡ ドラム缶1個

汚泥、金属くず (廃乾電池 (水銀使用製品産業廃棄物を除く) に限る)

最大保管容量：0.4㎡ ドラム缶2個

汚泥、金属くず (廃水銀電池 (水銀使用製品産業廃棄物) に限る)

最大保管容量：0.6㎡ ドラム缶3個

廃プラスチック類、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず (廃蛍光灯 (水銀使用製品産業廃棄物) に限る) (破損したものに限る)

# I. 組織の概要

(2022年4月現在)

## (7) 事業の規模

⑥処理施設の設置場所、設置年月日、施設の種類、産業廃棄物の種類、処理能力、処理方式、構造・施設の概要

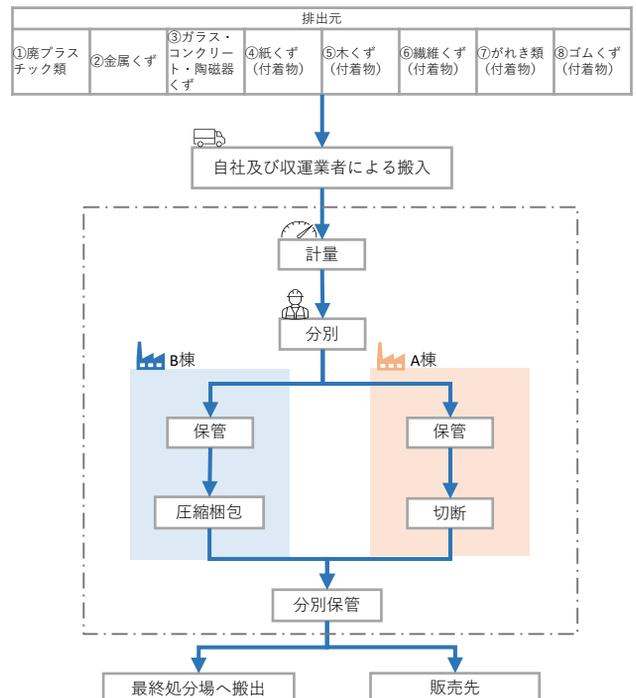
処理方式 圧縮・切断・圧縮梱包・破砕

処理能力		
圧縮	廃プラ	187t/日
	金属くず	390t/日
	混合処理能力	501t/日
切断	廃プラ	295t/日
	木くず	271t/日
	金属くず	1,132t/日
	ガラス/コンクリート・陶磁器くず	616t/日
	混合処理能力	830t/日
圧縮・梱包	廃プラ	1,095t/日
	紙くず	1,251t/日
	繊維くず	562t/日
	ゴムくず	1,628t/日
	金属くず	3,538t/日
	混合処理能力	1,084t/日
破砕	廃プラ、金属くず、ガラスコンクリート陶磁器くず（廃蛍光ランプ（水銀使用製品産業廃棄物）に限る）	19,200本/日

## ・圧縮梱包・切断工程

産業廃棄物の種類：廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ゴムくず、木くず

- 産業廃棄物の排出
- 自社及び収集運搬業者により産業廃棄物の搬入
- トラックスケールによる計量
- 種類ごとの分別
- プレス機による圧縮・ギロチンによる切断
- 自社又は他社による搬出
- 販売又は最終処分場へ搬出



# I. 組織の概要

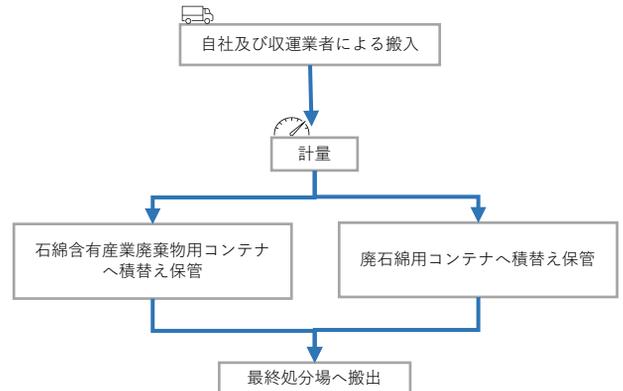
(2022年4月現在)

## (7) 事業の規模

### ・積替保管工程（石綿含有産業廃棄物及び廃石綿）

産業廃棄物の種類：汚泥、廃プラスチック類、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類（いずれも石綿含有産業廃棄物に限る）

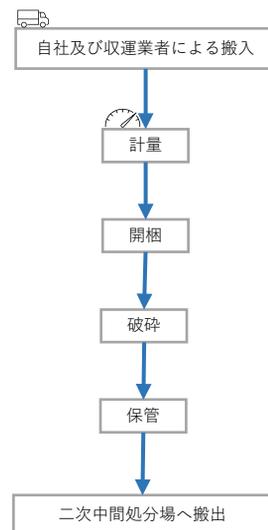
- a.産業廃棄物の排出
- b.自社及び収集運搬業者により産業廃棄物の搬入
- c.トラックスケールによる計量
- d.梱包状態のまま荷降ろし
- e.保管用コンテナへ積替え
- f.自社による搬出



### ・破碎工程（廃蛍光灯）

産業廃棄物の種類：廃プラスチック類、金属くず、ガラスコンクリート陶磁器くず（廃蛍光灯（水銀使用製品産業廃棄物）に限る）

- a.産業廃棄物の排出
- b.自社及び収集運搬業者により産業廃棄物の搬入
- c.トラックスケールによる計量
- d.梱包状態のまま荷降ろし（運搬中に割れないように梱包）
- e.開梱し、保管
- f.破碎機による破碎
- g.破碎後廃棄物をドラム缶にて保管
- h.他社による搬出



## ⑦処理実績（2021年4月～2022年3月）

収集運搬量 1,529t（内積替え保管分1,416t含む）  
中間処理量 20,723t  
スクラップ量 33,908t

## ⑧自社ホームページURL [www.major-venous.co.jp](http://www.major-venous.co.jp)

# I. 組織の概要

(2022年4月現在)

## (8) 事業登録

許可都道府県	許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限日	許可の範囲
東京都	産業廃棄物処分業	13-20-190368	R3.10.28	R10.10.27	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ゴムくず
東京都	産業廃棄物収集運搬業	13-57-190368	R4.2.10	R11.2.9	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん、政令13号
東京都	特別管理産業廃棄物収集運搬業	13-00-190368	R4.2.10	R11.2.9	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等
東京都	古物商	301131606619	H28.10.7	なし	
東京都	再生事業者登録	370	R4.3.31	なし	金属くず
東京都	第一種フロン類充填回収業	13105428	H28.11.7	R8.11.6	CHC、HCFC、HFC
千葉県	産業廃棄物収集運搬業	01200190368	R4.3.29	R11.2.7	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん
千葉県	特別管理産業廃棄物収集運搬業	01250190368	R4.3.29	R11.2.7	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等
神奈川県	産業廃棄物収集運搬業	01400190368	R4.5.16	R11.2.5	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん
神奈川県	特別管理産業廃棄物収集運搬業	01450190368	R4.5.16	R11.2.5	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等
埼玉県	産業廃棄物収集運搬業	01100190368	R3.12.27	R10.12.25	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん
埼玉県	特別管理産業廃棄物収集運搬業	01150190368	R3.12.27	R10.12.25	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等
茨城県	産業廃棄物収集運搬業	00801190368	R4.4.28	R11.1.19	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん
茨城県	特別管理産業廃棄物収集運搬業	00851190368	R4.4.28	R11.1.19	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等
三重県	産業廃棄物収集運搬業	02400190368	H29.8.31	R4.8.30	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む）、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）、ばいじん、処理するために処理したもの
三重県	特別管理産業廃棄物収集運搬業	02450190368	H29.8.31	R4.8.30	引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、特定有害廃石綿等



# I. 組織の概要

(2022年4月現在)

## (9) 使用車両等

- ①収集運搬車両 5台 + トレーラー荷台1台
- ②営業車 4台
- ③重機 9台

車種	燃料
トヨタ シエンタ	ガソリン
日産 ノートe-Power	ガソリン
日産 ノートe-Power	ガソリン
トヨタ カローラフィールダー	ガソリン
三菱 アームロール	軽油
日産 ディーゼルコンドル	軽油
三菱 キャンター	軽油
いすゞ ダンプ	軽油
いすゞ トレーラー	軽油

車種	燃料
コマツ バッテリーフォークリフト x 3台	電気
コマツ ディーゼルフォークリフト	軽油
コマツ ユンボ (0.45m <sup>3</sup> )	軽油 (GTL)
日立 ユンボ (0.7m <sup>3</sup> ) × 2台	軽油 (GTL)
日立 ホイールローダー	軽油 (GTL)
住友建機 マグネユンボ	軽油 (GTL)

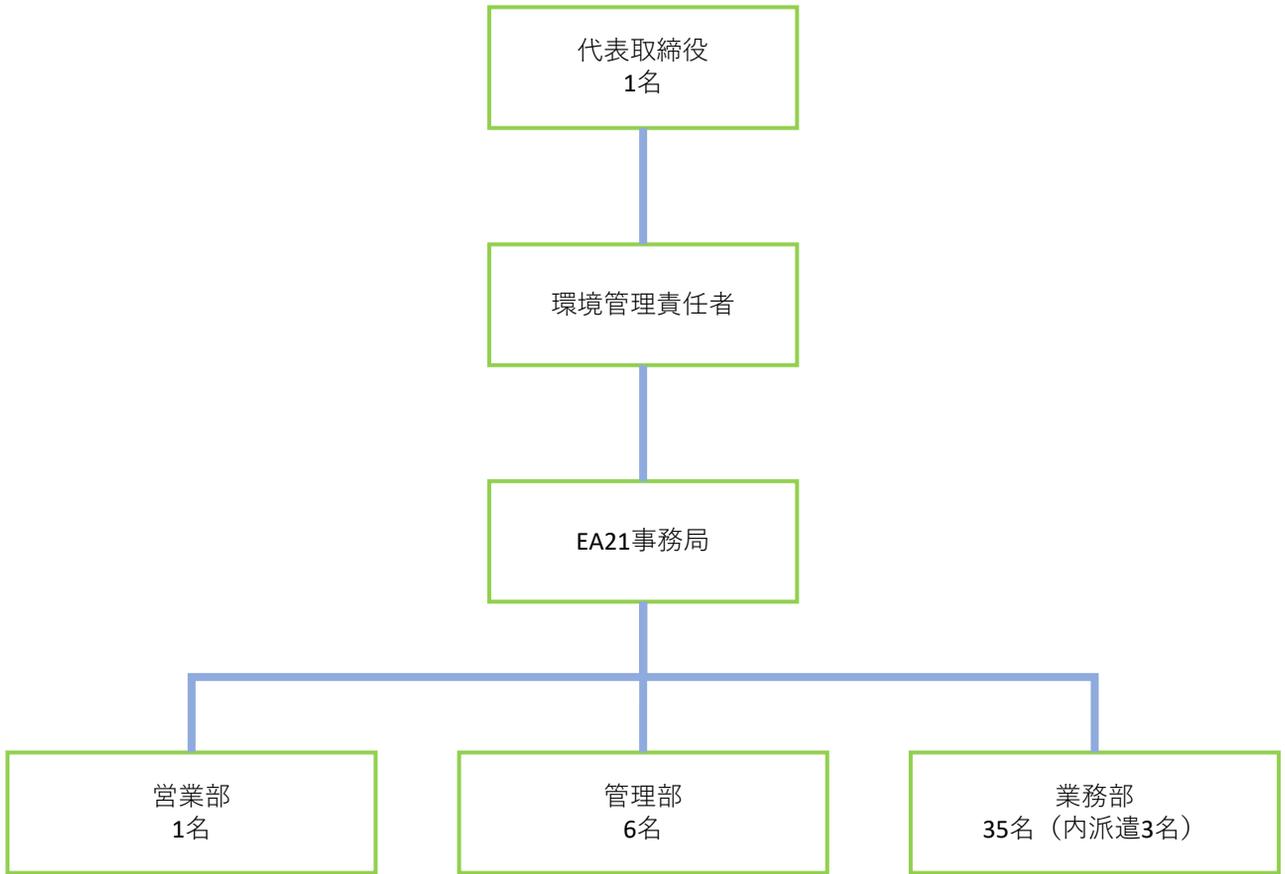


## Ⅱ. 対象範囲

(2022年4月1日現在)

組織図

メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社



合計 43名  
(ほか八丁堀事務所 営業8名・システム部2名)

## Ⅱ. 対象範囲

(2022年4月現在)

### 役割・責任・権限

職名	役割・責任・権限
代表取締役	環境経営全般に費用関する統括責任
	環境方針を策定し、従業員に周知する
	環境管理責任者を任命する
	実施及び管理に必要な人、設備、時間を用意する
	エコアクション21の全体評価と見直しの実施する
環境管理責任者	環境管理システムの評価及び、対策を行う
	環境活動の取組結果を代表者に報告する
	環境法令遵守の責任を持つ
	エコアクション21文書類(環境方針を除く)の承認を行う
EA21 事務局	環境管理責任者の補佐
	環境管理システムの構築、文書化、実施運営を行う
	環境への負荷の自己チェックを評価する
	環境への取組の自己チェックを評価する
全従業員	環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	自主的・積極的な環境活動への参加
	関連する法規制等を遵守する
	教育・訓練を実施する
営業部	社会貢献活動報告書
	環境負荷データ
管理部	事故対応マニュアル
	活動計画管理表
	是正措置及び予防措置
	教育訓練計画
	環境関連法規
	環境活動レポート
業務部	防火訓練
	安全衛生作業手順書
	大気中アスベスト濃度検査
	設備電力使用量
	外部苦情受付

## Ⅲ. 環境方針

### < 基本理念 >

地球温暖化を始めとする地球環境問題は深刻さを増し、それらへの対応は人類共通の重要課題となっている。このような状況に対し、メジャーヴェーナス・ジャパン株式会社ではリサイクル事業と廃棄物処理事業の推進により循環型社会の形成に貢献することが総合リサイクル業としての社会的使命であると認識し、そのため、全従業員が一体となり地球環境及び地域環境の保全と環境負荷の低減に向けて積極的な施策を推進し、日々の業務に取り組む。

### < 活動指針 >

1. エコアクション21に適合するマネジメントシステムを運用し、継続的に改善するとともに、環境改善に努める。
2. 当社の業務に関する法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を順守する。
3. 業務を通じて一人ひとりが知恵を出し合い、以下に取り組む。
  - ①資源回収推進とリサイクルの高度化
  - ②地域社会への貢献
  - ③使用する資源・エネルギーのカーボンニュートラル化の推進
4. 環境への取り組みを環境活動レポートとして取りまとめ、公表します。環境方針は、全従業員に周知徹底し、かつ、一般の方に公開します。

制定 2017年5月1日

改定 2019年7月1日

2022年4月1日

メジャーヴェーナス・ジャパン株式会社  
代表取締役 渡辺 弘三



MAJOR VENOUS JAPAN  
メジャー ヴィーナス・ジャパン

## IV. 環境目標の実績

### 2020年目標値と実績の比較

項目		2021年 実績	2021年 目標	判定	評価
総搬入量(t)		54,602	47,154		鉄及びアスベストの搬入量が増加したため総排出量は増加したが、電気を再生可能エネルギーへ、工場内使用燃料をGTLへ変えることにより排出量を抑えられた。
温室効果ガス排出量	二酸化炭素(kg)	337,381	283,023		
	原単位換算	6.17 (102%)	6.00	△	
エネルギー 使用量	購入電力 (kWh)	1,081,215	946,760		購入電力によるCO2排出量は5月より0だが使用量だけチェックする。鉄の搬入量が大幅に増えたため、原単位が大幅に小さくなった。
	原単位換算	31.88(77%)	40.9	○	
	ガソリン (L)	1,788	1,522		営業活動活発化により、営業車の使用が増えた。
	原単位換算	37.25(117%)	31.70	×	
	燃料 (L)	118,622	107,277		今年度より場内使用燃料をGTLに変更。車両用燃料は今年より運行距離割で原単位を計算する。アスベスト運搬量増加のため総量が増加。 コンボ台数が1台増加しているのも使用量増加要因
	場内燃料(L) (うちGTL74,013)	81,547	77,386		
	原単位	3.63 (1.12%)	3.23	×	
	車両燃料 (L)	37,115 (原単位2.9)	29,891		
	都市ガス (m <sup>3</sup> )	127	124		ほぼ横ばい。人数が増えたので原単位上よくなっている。
	原単位換算	2.82(97%)	2.88	△	
	灯油 (L)	614	695		冬季の暖房の使用をこまめに消す効果が出ている。
原単位換算	13.64(84%)	16.16	○		
水使用量	上下水道 (m <sup>3</sup> )	1,270	1,276		ほぼ横ばい。人数が増えたため原単位上よくなっている。
	原単位換算	28.22 (95%)	29.68	○	

※電力量の二酸化炭素の排出係数は、東京電力の2019年度実排出係数 0.439 kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。

※場内燃料のうちGTL燃料は軽油に比べてCO<sub>2</sub>排出量が8.5%減のため、Lに対して0.9151掛けで原単位を計算する。

※グリーン調達に関しては適合商品へ順次切り替え中です。

※○：達成 △：～10%未達成 ×：10%以上未達成



## V. 中期環境目標

2020年度実績より、新たに2022年度までの中間目標を策定しました。

中期目標（2023年度まで）

項目	2021年度	各年度目標			備考	
		2021年度	2022年度	2023年度		
	実績	基準年 1%減	基準年 2%減	基準年 3%減		
総搬入量(t)	47,844	47,154	49,212	49,449		
温室効果ガス 排出量	二酸化炭素(kg)	732,780	283,023	295,412	296,414	
	原単位換算	15.32	6.00	6.00	5.99	
エネルギー 使用量	購入電力(kWh)	1,048,347	946,760	942,053	926,032	
	原単位換算	41.3	40.9	40.5	40.1	
	ガソリン(L)	1,537	1,522	1,506	1,491	
	原単位換算	32.0	31.70	31.38	31.07	年1%改善
	軽油(L)	104,349	107,277	112,380	112,790	
	原単位換算	3.26	3.23	3.19	3.16	年1%改善
	工場内燃料(L)		77,385.8	82,791.4	83,201.2	
	車両燃料(L)		29,890.9	29,589.0	29,589.0	年1%削減
	都市ガス(m <sup>3</sup> )	125	124	123	121	
	原単位換算	2.91	2.88	2.85	2.82	年1%改善
	灯油(L)	702	695	688	681	
	原単位換算	16.33	16.16	16.00	15.84	年1%改善
水使用量	上下水道(m <sup>3</sup> )	1289	1276	1263	1251	
	原単位換算	29.98	29.68	29.38	29.09	年1%改善

※黄色網掛け欄の原単位を数値目標とする。

※電力量の二酸化炭素の排出係数は、エバーグリーン・マーケティング(株)の2018年度実排出係数 0.439 k g --CO<sub>2</sub>/k Whを使用

※原単位はそれぞれ、(二酸化炭素(kg)/総搬入量(t))、(購入電気量(kWh)/金属スクラップ受入(t))、(軽油(L)/廃棄物受入(t))、(ガソリン(L)/営業車台数(台))、(都市ガス(m<sup>3</sup>)/従業員数(人))、(灯油(L)/従業員数(人))での計算とする

※2021年度5月より再生可能エネルギー発電へ切り替えるため、それ以降の電力のCO<sub>2</sub>排出係数は0とした。



# VI. 2020年度 環境活動計画の評価と 次年度の取組内容

取組結果【○良好 △不足】

項目（特段の記載があるものを除き通年実施）	判定結果	判定、次年度の取組内容	
		理由	代表者評価
オフィス電力使用量の削減 （責任：管理部）	○	意識向上に取り組んだ結果	今後も継続的に取り組んでいって欲しい。
車両燃費の向上 (全社) (責任：営業部)	△	導入したドライブレコーダーでは上手くデータを取ることができなかった。他の検討をしていきたい。	ドライブレコーダーは他社への変更も含めて検討してください。
工場用電力使用量の削減 (責任：業務部)	○	CO2削減のため再生可能エネルギー電力へ変更。	設備の効率的な稼働を全員が意識してください。
廃棄物排出量 (責任：管理部)	○	意識向上に取り組んだ結果。テレワークもあり少しずつ紙の使用も減っている。プラスチックのリサイクル先を検討中。	伝票の電子化を進行させましょう。
上水使用量の削減 (責任：管理部)	○	現場従業員も増え、使用量が増えた。	水道もこまめに止めるなどの意識は継続させてください。



## Ⅶ. 環境関連法規等の違法状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、関係機関及び近隣からの違反の指摘、訴訟等も過去2年間ありませんでした。

法的義務を受ける環境関連法規制は次のとおりです。

法規名称	適用条件	要求事項	遵守判定	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物、産業廃棄物の排出者（事業者、市民）-排出事業者について記述	適切な分別、3Rの推進	○	
		産廃収集運搬・処理業者との契約、許可証写し保管	○	
		保管基準 ・産廃置場60cm×60cm以上表示 ・飛散・浸透防止 ・衛生管理	○	
		努力義務（県条例で必須あり）産廃処理現場の定期的確認（他社に依頼も可）	○	
		マニフェストの管理	○	
		排出者の管理票報告書の提出	○	
		産業廃棄物の収集運搬、中間処理	収集・運搬・処分等の基準	○
			保管基準の順守	○
			管理者の設置	○
			委託基準の順守	○
	契約締結		○	
	マニフェスト管理		○	
	処理基準の順守		○	
	施設の維持管理		○	
	帳簿の記載義務		○	
	処理実績報告		○	
	石綿の保管基準 覆い、囲い、梱包等	○		
	特定施設事故時の処置、届出	○		
	水銀使用製品産業廃棄物に係る新たな措置 ・適正保管（分別保管と掲示） ・委託契約書及びマニフェストへの記載	○		



## Ⅶ. 環境関連法規等の違法状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法規名称	適用条件	要求事項	遵守判定
特定家庭用機器再商品化法	家電4品目の購入・使用後の廃棄	廃棄者として適正な廃棄	○
小型家電リサイクル法	対象品目の処理	廃棄者として適正な廃棄 (パソコン、電話機、携帯電話、プリンターなど)	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (略称「フロン排出抑制法」/旧：フロン回収破壊法)	第一種特定製品のフロン類の回収・運搬	回収業者登録	○
		フロンの引取り・引渡し義務	○
		行程管理票の運用	○
		記録の作成、保存、報告	○
		「破壊証明書」「再生証明書」の交付・回付	○
	フロン機器所有者の責務	フロン機器の定期点検及び点検記録の保存	○
		一定量以上のフロン漏えい時のフロン漏えい量の事業所管轄大臣への報告	○
消防法	指定可燃物	届出、表示	○
	消防用設備(消火器)等	設置と維持管理 同上届出検査点検報告	○
労働安全衛生法	指定施設(フォークリフト等)	自主検査、特別検査の実施	○
	教育・研修	雇用時教育、特別教育、リーダー研修	○
	指定業務	就業制限(免許又は講習受講が必要)	○
	事故の発生、傷病の発生	監督署への報告	○
	作業	安全基準の順守	○
	測定及び記録	作業場の石綿濃度測定(年2回)	非該当
	事業場	衛生基準の順守	○
古物営業法	古物を売買、交換、委託を受けて売買、委託を受けて交換をする営業を行うもの	許可の取得	○
		相手方の確認義務	○
		不正品の申告義務	○
		帳簿等への記載義務	○
東京都環境確保条例	ディーゼル車規制		○
	自動車一般		○
東京都アスベスト廃棄物の適正処理指導方針			非該当



## VIII. 代表者による全体の評価

### 【評価】

現在環境活動への取り組みは全従業員にも幅広く周知されています。新たな従業員が増えても、従業員同士が声を掛け合い積極的に環境活動を行っていました。結果として従業員増加に伴い使用エネルギーが増えたものの原単価は良くなっています。

来年度もさらなる環境活動への取り組みを強化しましょう。